



9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

○ 活動日

ギラギラ、ジリジリ…、頭上から太陽が容赦なく照りつけた、今年の夏。「う～ん気持ちがいい」高い青空に思わず深呼吸。ちょっとだけ秋が顔を出した。草と人(草刈り)のかけっこゲーム、いくら草刈しても…元の木阿弥の日々であったが、やっと一呼吸つける。

新隊員も入り協力隊の運氣上昇、躍動期に突入。秋・冬野菜の準備、日本スイセンの植え付け、大パラソルの張替え、草刈り、畦作り、ヒマワリの後片付け等、作業はてんこ盛り…大和なでして、東男！も元気一杯、大奮闘。



列になってスコップで土起こし。開墾者の苦勞が伺える。後はニホンスイセンを植える。



豊饒の大地の恵み、高山スイカに舌鼓。味は…文句の付けようがない、五臓六腑にしみわたる。

9月7日、11日 初秋の畦作りは大変だ。帽子のつばから滴り落ちる汗に大奮闘。ヒザが痛い！腰が痛い！それは「ヒマワリ油をさせば治るかも？」などなど談笑が飛ぶ、日焼けした顔は開拓者である。ニホンスイセン600球の畦作り。大阪府からの助っ人隊も加わり、作業は大加速。初春の新名所作りに奮闘する。

7日参加者(15人)、11日(13人)

9月25日 台風15号接近で、21日の活動は中止。隊長の中長期計画で棚田の階段は順調に上っている。36アールの保全・景観はそう遠くはない。本日の作業はスイセン植え付け、イノシシ・シカ用の防護ネット張り、ゴボウ掘り、ホウレンソウの種まき、ヒマワリの撤収、作物収穫等、目が回る。ゆっくりと棚田を自然を愛でる時間はなし。各自やれるだけのことは精一杯…皆さんお疲れ様でした。「あー楽しかった」仲間からの声が聞こえた。参加者(15人)、



大阪なにわ伝統野菜 「高山ごぼう」の試し掘り！



大阪なにわ伝統野菜「高山ごぼう」
夏の暑さに負けず順調に生育。試し掘りをする。自分で掘って味わうところに醍醐味があり。さて…味は…。
めったに口に出来ない逸品に、自然と笑みがこぼれますね。
収穫期は10月中旬～から。ゴボウ掘り体験も計画中です。

ホウレンソウの種まき
活動のご褒美としてもらって帰る。楽しみの一つ。まっすぐに伸びた見事な畦に、丁寧に種まきをする。発芽しますように…。